



Conquest of a nuclear hazard

原子力災害を克服していきます

1

☆個人住宅の除染は、大信地域の信夫地区で行うほか、事前調査後には白河地域の小田川、白坂、旗宿、みさか地区等で順次実施

☆小中学校等の放射線量モニタリング調査およびホットスポット除染を実施

☆稲の土壌から放射性物質吸収を抑制するため、昨年に引き続きカリ肥料を配布

☆外部被ばくの実態を把握するため、昨年に引き続き子どもや妊婦を対象に個人線量計の配布を実施

☆学校給食食材の検査を昨年に続き実施

☆長期的な内部被ばく検査体制を整えるため、白河厚生総合病院内にホールボディカウンターを設置

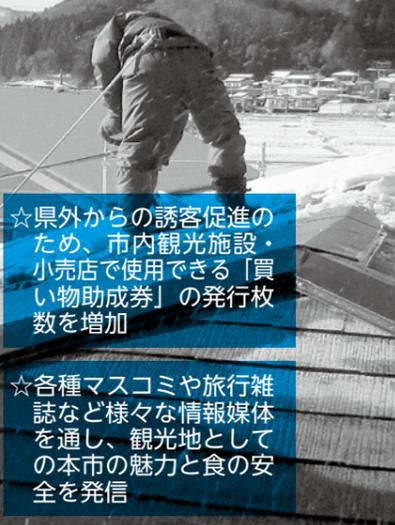
☆子どもたちが、放射線の影響を気にせず遊ぶ場を提供するため、五箇地区の屋内遊具施設を引き続き運営

☆消費者への正確な情報提供と安全性アピールのため、引き続き農産物等のモニタリング検査を実施

☆イメージ回復のため、首都圏を往来するラッピング広告車両を拡充

☆県外からの誘客促進のため、市内観光施設・小売店で使用できる「買い物助成券」の発行枚数を増加

☆各種マスコミや旅行雑誌など様々な情報媒体を通し、観光地としての本市の魅力と食の安全を発信



Full civic life

市民生活の充実を図ります

2

☆地域の子育てを総合的に推進するため、その実態や意見・要望などを把握する調査を実施

☆子どもの健康増進と保護者の経済的負担軽減を図るため、昨年に引き続き18歳までの医療費無料化を実施

☆すべての放課後児童クラブの開設時間延長と土曜日の開設を実施

☆社会からの孤立化や児童虐待を未然に防止するため、就学前の子どもの保護者を対象に、家庭訪問型事業「ホームスタート」を行う団体を新たに支援

☆救急搬送受け入れ体制充実のため、二次救急医療機関への医師確保を支援

☆よりきめ細かな高齢者支援を行うため、新たに「東部地域包括支援センター」を設置

☆「高齢者サロン・あつたかセンター」の設置・運営を拡充

☆仕事と子育て両立のため、会員相互の助け合いにより、子どもの一時預かりサービスを行う「ファミリーサポートセンター」を昨年に続き支援

☆糖尿病の早期発見・早期治療および重症化予防のため、「糖尿病ゼロ作戦」を展開

☆みんなが安心して医療が受けられるよう、医師会や市民等で構成する協議会を設置

震災から2年。公共施設はほぼ復旧し、除染など放射線対策にも計画的に取り組んでいます。今年は、復興を進めつつ、さらに発展するための未来を切り開く重要な年です。
今月号では、施政方針から今年度の主な取り組みを紹介します。



これまで本市発展のための基礎づくりとして地元企業の底上げや企業誘致の推進、強い農業などによる産業の振興と雇用の確保、歴史・伝統・文化など足もとにある資源を活かしたまちづくりを進めてきました。これらをさらに推し進めながら、災害に強いまちづくりなど震災から得た新しい視点を加え、将来、本市が持続的に前進できるよう各種事業に取り組んでまいります。

新年度は「復興」から「発展」へのステージ。社会経済情勢の変化に適確に対応し、未来にたすきをつなぐための長期的視点と市民生活へのきめ細かな目配りをする視点に立って市政を運営してまいります。

白河市長 鈴木 和夫

■特集 平成25年度施政方針
新たな「発展」のステージへ。

目覚めのとき。



An attractive area and cultivation of men's ability

魅力ある地域と人づくりを推進します 5

☆施設の長寿命化を図るため、大信中や白坂幼稚園の大規模改修を実施

☆小峰城の修復に向けて、本丸南面の石垣積み替えに着手、月見櫓・竹之丸南面の設計を実施

☆白二小および表郷幼稚園の改築工事、中央中の建設工事、釜子小の設計等を実施

☆郷土に対する愛着や誇りを育むため、地域の歴史や文化を学ぶ「白河の歴史再発見事業」を中学生まで拡大

☆図書館において、蔵書量の増加、児童書・大活字本の充実や視覚障がい者に対応する音訳者の養成など、きめ細かなサービスを提供

☆修景事業に対する支援など市民主体の景観形成活動を推進

☆「歴史的風致維持向上計画」に基づき、小南湖全体の整備や老朽化が進む「旧藤本陣柳屋旅館」蔵座敷の修復などを推進

☆市民文化会館の建築工事に着手するとともに、運営管理計画の策定を推進

☆地域コミュニティ強化のため、集会所の整備や町内会の活動を支援する「地域の底力再生事業」を推進

☆市民とともにまちづくりを進めるための基本的なルールとなる「自治基本条例」の策定を推進

☆表郷公民館建設工事を実施

A safe and comfortable life

安全で快適な暮らしの実現を図ります 3

☆被害を最小限に抑えるため、災害時行動マニュアルを全戸配布

☆橋梁の長寿命化に着手（西郷搦目線西郷高原大橋の補修）

☆住宅再建困難な被災者のための災害公営住宅を葉ノ木平地区に整備

☆震災の教訓を踏まえ、総合的な防災訓練を実施

☆防災・農業経営安定支援のため、農業用施設の整備、改修を実施

☆市道の整備（白坂駅十文字線、金勝寺大谷地線、老久保2号線、梁森中寺線等）

☆消防団の拠点となる屯所の改築と消防車両の更新

☆国・県道の整備を促進（国道4号の4車線化、同294号白河バイパス葉ノ木平地区の事業着手、県道社田浅川線拡幅等）

☆循環バスの土曜日運行を開始

☆葉ノ木平地区の復興に必要な市道南町小田川2号線を整備

☆地滑りにより被災した葉ノ木平地区に、避難場所を兼ね、防災機能を有した「震災復興記念公園」を整備

☆地上デジタル放送の難視地区解消のため、白河南中継局からの受信を周知徹底するとともに共聴施設への助成を実施

Administrative management trusted by citizens

市民から信頼される行政運営を推進します 6

☆情報受信者の反応が確認できるフェイスブックを活用し、本市の魅力を効果的に発信

☆市政懇談会や各種説明会の開催による丁寧な説明

☆財政計画に基づき、健全な財政運営を推進

☆第二次総合計画に基づき、各種施策の着実な遂行

☆職員の専門知識の習得や政策形成能力向上のため、国・県への派遣や各種研修を実施

☆分かりやすい情報の提供のため、市民目線に立った「広報白河」を発行

■施政方針に関することは・・・本庁舎企画政策課 ☎1111 内2323

Revival of industry and economy

産業・経済の復興を推進します 4

☆工業の森B工区造成に伴う周辺市道、簡易水道施設および工業用水道施設の整備

☆雇用確保等のため、企業誘致を推進

☆既存企業の底上げを図るため、産業サポート白河で、昨年に続き企業訪問や各種相談、企業展示交流会を開催

☆集落全体での農業経営の転換に向けた組織化や農地の集積を通し大規模農家の育成を図るなど、効率的で安定した農業経営の基盤づくりを推進

☆再生可能エネルギーについて、白河地域再生可能エネルギー協議会と連携し、導入を推進

☆農工商連携による新商品開発や農産物のブランド化・販路拡大に向けた取り組みを展開し、全国に向けて本市の農産物などの魅力を発信

☆電気自動車急速充電器設備の設置補助

☆NHK大河ドラマ「八重の桜」の放映を契機にキャンペーン事業を展開し、本市の魅力を全国に発信

☆老朽化が進んでいる「きつねうち温泉」のリニューアルに着手

☆中心市街地の活性化に向けて、空き店舗対策、集合住宅建設等への助成を行うとともに、旧農協会館跡地に建築中の共同住宅について、入居者やテナントの誘致を図るなど、本市の個性を生かした賑わいを創出